

平成28年1月17日
水管理・国土保全局防災課
気 象 庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

1月17日夜遅くから18日にかけての大雪に備え、別添のとおり、ドライバー等の皆様への呼びかけについてお知らせします。

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室
緊急災害対策企画調整官 吉岡 大藏 (内線35762)
地震防災係長 飯島 直己 (内線35835)
TEL 代表 03-5253-8111
直通 03-5253-8461
FAX 03-5253-1608

(気象の見通しに関すること)

気象庁 予報部 業務課 気象防災情報調整室
室長 千葉 剛輝 (内線3105)
TEL 代表 03-3212-8341
直通 03-3211-8302
FAX 03-3284-0180

(道路に関すること(類似の被災事例・現場の対応状況))

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室
企画専門官 志々田 武幸 (内線37812)
TEL 代表 03-5253-8111
直通 03-5253-8489
FAX 03-5253-1620

- 平成28年1月17日夜遅くから18日にかけて、東日本や東北地方の太平洋側を中心に湿った雪が降り、山沿いでは大雪となる。**関東や東北地方などの普段雪の少ない平野部でも大雪**となるところがある。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は避けていただく**とともに、やむを得ず**運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着**をお願いします。
- 関東地方整備局等においては、立ち往生車両が発生した際にいち早く対応できるよう、今夜より24時間体制をとる予定です。
- ※なお、その後、19日には西日本から東北地方の日本海側および北海道を中心に降雪が強まり、猛吹雪の所がある見込みであり、引き続き警戒が必要です。

【1. 今後の気象の見通し】

平成28年1月19日頃にかけての大雪と暴風雪

	17日		18日		19日	
	夜	朝	昼	夜	朝	昼
九州北部						←
山陰					←	←
近畿北部					←	←
東海					←	←
関東甲信	←	←			←	←
北陸					←	←
東北		←	←	←	←	←
北海道					←	←

大雪: ← → 猛ふぶき: ← →

【気象概況】

- 1月17日から18日にかけて低気圧が急速に発達しながら本州の太平洋側に沿って進み、18日夜には三陸沖に達する。その後、21日頃にかけて日本付近は強い冬型の気圧配置となる。
- 18日12時までに予想される降雪量は、いずれも多い所で関東甲信地方40センチ、東北地方・北陸地方30センチ、中国地方・東海地方20から25センチ、関東南部平野部15センチ等。北日本と日本海側を中心にその後さらに降雪量が増える。
- 大雪や猛ふぶきに伴う交通障害に警戒が必要です。
- 詳細な気象情報については、気象庁HP (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)をご覧ください。

【2. 類似の気象条件における被災事例】

平成26年2月13日から15日にかけての大雪

＜ 普段雪が降らない地域の記録的大雪により車両の立ち往生 約1,600台※ ＞

※ 直轄国道における立ち往生台数

- 14日から15日にかけて、関東甲信地方の広い範囲で記録的降雪となった。
- 高速道路や国道でノーマルタイヤの車両の立ち往生をきっかけに、大規模な立ち往生が発生。
- 最長で4日間立ち往生が解消せず、人流・物流に大きな影響を与えた。



国道18号（軽井沢バイパス）

【3. 整備局など現場の対応状況】

- 通行止め予定区間に除雪車両を配置するなど事前準備を整えるとともに、立ち往生車両が発生した際にいち早く対応できるよう今夜より24時間体制をとる予定です。